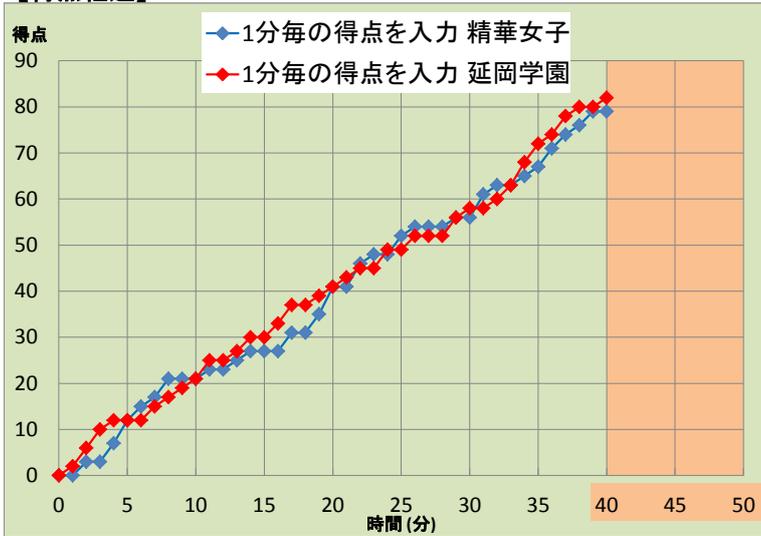


平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月25日 (日) 9:00	
コート	Bコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	神丸 一祐	
第1副審	井元 誠	
第2副審	佐田 明美	

TEAM A		TEAM B
精華女子	79	82 延岡学園
福岡2位		宮崎1位
●		○

Score Breakdown:
 21 1st 21
 20 2nd 20
 15 3rd 17
 23 4th 24
 OT

【BOXスコア】

TEAM A		精華女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	梶原志保	0				1	
5	織田萌々香	0					
6	清水利祐子	16		8		4	
7	石丸雪乃	14		7		4	
8	屋宜沙弥香	0					
9	長谷川奈央	0					
10	仲里紗々花	2		1		1	
11	矢野聖華	15	3	3		1	
12	樋口鈴乃	18	4	3		1	
13	嵐夏妃	0					
14	三浦舞華	14	2	3	2	2	
15	木村瑞希	0					
コーチ	大上晴司						
合計		79	9	25	2	14	

TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	白川万智	19	3	5		1	
5	セック マム ジャー...	8		2	4	1	
6	松村美怜	0					
7	神野海	23		10	3	1	
8	千々岩美菜	10		4	2	1	
9	満井遥	0					
10	塩月琴絵	0					
11	山元さくら	0					
12	稲留玲奈	4		2			
13	山内杏香	0					
14	江藤涼	0					
15	ムホムホ ムロク...	18		9			
コーチ	内村昌弘						
合計		82	3	32	9	4	

【戦評】

全九州大会準決勝、福岡県2位精華女子対宮崎県1位延岡学園との対戦、スターティングメンバーは、精華女子#4、#6、#7、#12、#14、延岡学園#4、#5、#7、#8、#12で試合開始。第1P両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンス。序盤、延岡学園は#15を中心にオフェンスリバウンドをよく拾い、得点を重ねる。精華女子は#14の3ptsによる3点のみに抑えられ、3分タイムアウト。5分、精華女子は#12ジャンプショットで12対12同点に追いつくと、さらに#12が3ptsを沈めて逆転に成功。延岡学園も#4の3ptsで返すと、その後は一進一退の展開となり、21対21の同点で第1P終了。第2P、両チームともミスの少ないバスケットを展開し、常に2〜3点延岡学園がリードする中、6分、延岡学園#4の3ptsで6点差とする。9分、精華女子#12のスティールからのレイアップで4点差となり、延岡学園タイムアウト。延岡学園、1本返すも、精華女子#11が3ptsを2本連続で沈め、41対41の同点で前半終了。第3P、延岡学園は3-2のゾーンディフェンスに対して、精華女子はアウトサイドシュートやファストブレイクで得点を重ねる。延岡学園は#4のインサイドや3ptsで得点。4分、精華女子インサイドの要#7が4つ目のファウルを記録し、ベンチへ。その後延岡学園が逆転し、2点差で最終Pへ。第4P、延岡学園は#15にボールを集め、リードを保つ。精華女子は#7、#11のジャンプショットで応戦するも、高さで勝る延岡学園がリバウンドで優位に立ち、6分半、7点差に開いたところで精華女子タイムアウト。精華女子#12の3ptsで反撃開始。8分半、4点差で精華女子タイムアウト。タイムアウト明け、精華女子#11の3ptsで1点差。延岡学園タイムアウト。延岡学園は#15のインサイドで3点差になり、そのまま試合終了。インサイドで優位に立った延岡学園が接戦を制した。

【戦評記者】

福岡県バスケットボール協会